



磯部 亜希 議員

高島市における社会教育のこれからについて

リーダー育成につながるような

社会教育事業が行われているか？

答

社会教育の重要な使命と考え、人権や環境問題などの内容で行っています。

問 高島市における社会教育は、合併前から今までの経緯を含めて充足しているか。

答 教育総務部長

合併前は幅広く社会教育所管課で担っていました。合併後は所管課を分け、より専門性を高めた社会教育行政を推進していますが、縮小している部分もあります。今後も物的・人的資源を有効に活用し、社会教育の充実に努めてまいります。

問 自立性やリーダー育成につながる事業実施や、学んだことを生かせる場作り、仕掛け作りは行われているか。

答 教育総務部長

また、地域課題に関わる講座・教室に関心をもちてもらえるような工夫はされているのか。

地域課題を学び、その学びを生かして地域のリーダーとして活躍していただくことがひとつのきっかけであり、社会教育の重要な使命であると考え、人権や環境問題などの内容で講座を

行っております。

仕掛け作りとしては、学んだことを学校支援ボランティアとして学校現場で生かしていただき、生きがいづくりと学校を核とした地域づくりを進めていきたいと考えています。

地域課題に関わる講座・教室は、市民の皆さんに興味を持っていただけるように、地域課題と趣味・教養を高める講座を組み合わせ

てプログラムを作成したり、見学や実習などの工夫を加えたりして実施しているところではあります。

今後は、公民館運営審議



問 グラウンド整備も業務にあるマキノ公民館について、職員の増員が困難であるなら、アウトソーシングや民間の力を借りるなどの対策が必要ではないか。

答 教育総務部長

職員が公民館事業の企画や各種団体の指導育成など、社会教育に力を注ぐことができないような体制整備に今後も努力してまいります。

その他の質問

●集落機能強化について